



# 鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851  
(電話 045-473-7191)

## 聖書の言葉

**「アブラムは主の言葉に従って旅立った」****聖書(創世記12章4節)**

牧師 河合裕志

アブラムとは後のアブラハムのごと。アブラハム・リンカーンといった人がいた。アブラハムはユダヤ教、キリスト教、イスラム教の人々によって「信仰の父」として等しく尊敬されている。今から4千年近く昔の人。

ある時「主(神)はアブラムに言われた。『あなたは生まれ故郷、父の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福しあなたの名を高める。祝福の源となるように。(中略)地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る』」。そこでアブラムはこの主の言葉に従って旅立つことになる。

アブラムの生まれ故郷はカルデア(後のバビロニア)のウル。ウルはユーフラテス川下流の西岸にある町で月神礼拝が行われていた。そんなある日、主の言葉があったのでそこより出立、ユーフラテス川に沿って北西に千キロ程進みハランに到着。そこにしばらく滞在した後、南を目指しカナン(後のパレスチナ)に向かうことになる。

アブラムの旅立ちのきっかけは主の言葉にあった。「大いなる国民にしよう」。これが動機付けになった。そして確かにその子孫によってイスラエル国が建設されることになる。しかし彼がハランを出発した時には妻サライ(後のサラ)との間には一人の子供もなく、また一坪の土地も持っていな

い。それなのに大いなる国民にするとの主の言葉を信頼し旅立つ。ここに彼の信仰の深さがうかがいしれるというもの。

それから主の言葉にはアブラムが「祝福の源となる」とか「地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る」といった一寸意味不明の言葉が見られる。イスラエル国だけが恵まれるというのではない。地上の全ての氏族、民族、国民がアブラムにより祝福に入る、と。この説明は2千年の時を経てパウロによってなされた。「アブラハムに与えられた祝福がキリスト・イエスにおいて異邦人に及ぶ」(ガラテヤ書3章14節)。

これはつまりキリストの十字架と復活により全人類に罪の赦しと永遠の命がもたらされたことを言っている。マタイ福音書の冒頭には「アブラハムの子ダビデの子、イエス・キリストの系図」とある。アブラハムの末からキリストが誕生したことを物語る。まさにアブラムは祝福の源だった。そしてこの約束はキリストにおいて実現を見ている。今や全人類に、全ての人に罪の赦しと永遠の命が提供されている。この大きな大きな祝福。誠に感謝なこと。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時～7時